

# わたしたちにできること

市は令和3年5月に内閣府より「SDGs未来都市」に認定されました。持続可能な(住み続けられる)まちづくりに向けた市の取り組みや私たちができる身近なことについて、不定期で紹介します。

問い合わせ先 SDGs推進室 ☎0968(41)4488



SDGs未来都市 菊池市

# 社会を明るくする運動

犯罪や非行のない地域を目指し、一人一人が考え、参加するきっかけをつくることを目的に活動しています。

問い合わせ先 社会を明るくする運動菊池市推進委員会 ☎0968(25)7232 (生涯学習課内) 【協力】菊池地区保護司会菊池分会広報部



更生ペンギンのホゴちゃん



## 今年度の主な取り組み

■啓発運動 7月6日、5年ぶりに啓発活動を実施しました。保護司会をはじめ、民生委員や市内の高校生なども参加して、市内6カ所所で啓発グッズの配布や啓発車での巡回を行い、運動への理解と協力を願いました。



スーパーなどで啓発活動を実施

■集会 7月13日に青少年育成市民会議と共催で、社会を明るくする運動菊池市集会を文化会館で開催。菊池農業高校太鼓部の力強い演奏がオープニングを飾りました。

記念講演では、熊本保護観察所長の富田義博さんが「更生保護のしくみと支える人々(地域の力)」と題して講演。参加者からは、「保護司や更生保護の仕組みについて理解し、自分や地域を見つめ直す良い機会となった」といった感想が多数寄せられました。菊池高校生が司会進行とス

テージ運営、菊池女子高校生が手話通訳を担当。菊池農業高校からはステージを彩る花鉢を提供してもらい、若い世代も参加した素晴らしい集会となりました。



富田義博さん



菊池農業高校太鼓部の迫力あるパフォーマンスで会場は盛り上がりました

【最優秀賞】末田風和さん(限府小6年) 吉岡澤那さん(泗水中3年) 福嶋明日香さん(菊池女子高2年) 広報きくちの令和6年9月号〜11月号で紹介しています。

■のぼり旗等の設置 各区のご協力で7月の強調月間中に設置しました。市役所や市内中学校では、懸垂幕や横断幕を設置して、啓発活動に取り組みました。

■協力金 協力金は令和6年11月末時点で85万6300円となり、各種事業に使わせていただきました。

## 保護司の学校訪問

保護司は、罪を償い立ち直ろうとする人たちに支援するだけでなく、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。

その中で、子どもたちの成長を支える学校は大切な連携先です。菊池の保護司会では夏休み前後に市内5つの中学校を訪問して、保護司会の活動や社会を明るくする運動の目的を伝え、協力をお願いしました。先生からは学校の現状に

ついて、目標や課題も含めて熱心に説明してもらいました。話を聞いて「浦島太郎になった」と感想が出るほど、現在は教育内容も方法も大きく変化していると知り、驚きました。社会が学校に与える影響は深刻ですが、厳しい状況の中で生徒の心身を健康に育てようと尽力される先生たちに深い敬意と感謝の念をいただきました。中学生が多様な活動を体験できるよう、地域の皆さんと協力関係を築いていることに希望を感じました。授業参観では、チョークで板書される先生とノートをとる生徒たちの姿を見ることができ、「そこは昔と変わらない」と浦島太郎の私たちはホッとしました。

## 更生保護活動表彰

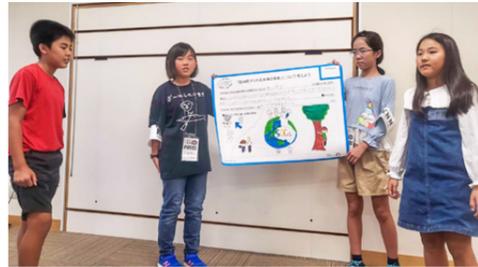
【全国保護司連盟理事長表彰】原保奈美さん(日生野) 【九州地方更生保護委員会委員長表彰】赤星幸成さん(羽根木) 上田公子さん(上住吉) 児玉良夫さん(富の原東) 中原純一さん(広瀬)

## 国連を支える世界こども未来会議 × くまモン夢学校 in 菊池

本 プロジェクトは、BEYOND2020(内閣府認証事業)より創出された、SDGsピースコミュニケーションプロジェクトの一環として、未来を担う子どもたちにSDGsを軸として、平和で豊かな世界について表現し、語り合うことを目的に実施されています。

県では、県内のSDGs未来都市に住む小学生を対象に「くまモン夢学校」と共同開催していて、市からは4人の児童が参加しています。昨年10月26日に今年度3回目のこども未来会議が市で開催されました。

当日は、鞠智城でのフィールドワークの他、「住み続けられる未来の熊本」についてワークショップを行い、グループ発表を行いました。



市内の児童たちが発表

## きくち竹資源ネットワーク交流会

熊 本県、女性林業者グループ、菊池農業高校、市の関係課で、竹資源ネットワーク交流会を開催しました。交流会では、放置竹林問題や脱炭素社会の実現に向け、竹資源を有効活用する方法を検討しています。



第2回会議では、地域で活動している市民の皆さんも交えた意見交換を行いました

## 小学生向けSDGs講座

包 括連携協定を締結している、あいおいニッセイ同和損害保険(株)熊本支店協力の下、市内の小中学校でSDGs普及啓発のための講座を開催しています。

講座では、世界で起きているさまざまな問題をクイズ形式で出題し、水の大切さや食品ロスの問題について学びました。

次世代を担う子どもたちがSDGsへの理解を深め、日常生活の中でSDGsの目標達成に貢献できる行動を考えました。



泗水東小学校(4年生)でのSDGs講座

## フードライブ2024

昨 年7月、中央公民館で開催した「2024みんなのSDGsフェスティバルきくち」でフードライブ2024を実施しました。同フェスティバルは令和4年の子ども議会で中学生議員が提案したことがきっかけで実現。今回で2回目の開催となりました。

多くの皆さんの協力により、食料品や飲料品1,203点が集まりました。集まった食料品や飲料品は、市内の子ども食堂などへ寄付しました。この取り組みは、食品ロスの削減や地域福祉への貢献につながります。



## 生ごみ処理機の購入補助金を引き上げ

生ごみ処理機を使うことで、生ごみの水分量を減らし、ごみの減量化や臭いの軽減につながります。堆肥化して家庭菜園の肥料としても役立ちます。生ごみ減量に取り組んでみませんか。詳しくは環境課(☎0968(25)7217)まで気軽にお問い合わせください。

	変更前	変更後
補助率	3分の1	2分の1
電動式上限額	2万円	3万円
処理容器上限額	3千円	5千円